

令和 7 年度

社会福祉法人まごころ

ビーアンビシャス

事業報告

(就労継続支援 A 型(※令和 7 年 6 月末日で廃止)・B 型)

令和 7 年度 事業概況

令和 7 年度は支援学校卒業生 4 名を 4 月から、年度途中で 3 名の新規利用者を受け入れることができた。新規利用者獲得のためのプロジェクトチーム（以下、CAPT）が精力的に活動を続け、コンスタントに生徒等の実習を受け入れた成果であった。

令和 7 年 10 月から新規事業として開始した就労選択支援事業については 10 月から 3 月の間に 2 名の利用があった。1 名あたり約 12 日間利用していただき、本人の働く力について職員と共同で考え、卒業後の進路や次のステップについて選択しやすくするのが目的だが、新規事業のため、あまり周知が進まず少ない利用にとどまった。

平成 25 年から開始した就労継続支援 A 型事業を令和 7 年 6 月末日で廃止とした。A 型を利用していた 3 名の利用者は、給与や待遇など、利用者にとって不利益にならないよう配慮し、ピーアンビシャスの B 型にサービス変更したあとも、引き続き利用を継続することができている。

職員研修として、千葉市にある社会福祉法人オリーブの樹オリーブハウスにて視察訪問を実施した。オリーブハウスでは焼き菓子やアイスクリーム、小物づくりの現場を視察することができた。その他外部研修にも積極的に参加した。また職員全体が受講した内部研修では身体拘束適正化、虐待防止について学び見識を深めることができた。

利用者の作業についても飲食、軽作業の合計で 5,500 万円を超える売上を残すことができ、利用者の工賃向上に繋げることができた。

まごころ庵では通常営業の他に、行政、学校、他団体などが主催するイベントにおいてキッチンカー等で外部販売を行った。また、主催者側から出店のお誘いを受けることも多く、計 10 回以上販売の機会を得ることが出来た。今年度参加したイベント主催者から、次回開催の出店について誘致いただくなど、次につながる活動が出来ている。

フレンズでは航空関連企業からパンや菓子類の委託販売業務を受注し、高評価をいただくことができ、安定した販売数を継続することができている。年 2 回開催するフレンズマルシェも徐々に浸透しており、リピーターの方も増えてきている。

軽作業においてもヘッドホン等の作業が順調に受注数、生産数を増やすことができている。作業が安定して行えることで、作業を行う利用者のモチベーションも高いままで維持できている。取引先との信頼関係も築くことが出来ており、新規作業の受注にも繋がられている。

利用者支援の面では日帰り社員旅行や納涼祭、新入社員歓迎寿司パーティなどを開催し、利用者に対して仕事以外の楽しさを提供することができた。

その他ソフトボールやキックベース等のスポーツ、文化芸術活動にも取り組み、作業以外でも利用者の個性を伸ばす支援に取り組むことが出来た。

1. 施設利用状況（令和 8 年 3 月 31 日現在）

(1) 利用状況

就労継続支援 A 型 令和 7 年 6 月 30 日付けで廃止

就労継続支援 B 型 定員 60 名 現員 65 名

(2) 入退所状況

① 就労継続支援 A 型（R7.6.30 で廃止）

	合計	就労	学校	在宅	他施設	入院	その他
入所者、入所前状況	0	0	0	0	0	0	0
退所者、退所後	3	0	0	0	0	0	3

② 就労継続支援 B 型

	合計	就労	学校	在宅	他施設	入院	その他
入所者、入所前状況	10	1	4	1	1	0	3
退所者、退所後	5	1	0	1	2	0	1

(3) 利用率 ※利用率はサービス種ごとに定員数に対して算出

※7 月より B 型定員 50 名から 60 名に増員、就労選択定員 10 名

月	開所日数	A 型利用率	B 型利用率	就労選択
4	29	22.1%	87.2%	
5	27	25.2%	97.9%	
6	29	22.8%	89.9%	
7	30		77.9%	
8	28		76.1%	
9	28		76.6%	
10	28		81.0%	
11	27		79.3%	4.3%
12	31		73.3%	0.0%
1	27		81.0%	2.3%
2	26		73.5%	2.7%
3	30		89.3%	0.0%
年間平均	28.5	23.3%	81.9%	1.9%

2. 利用者の状況

(1) 年齢構成

	合計	～19	20～	30～	40～	50～	60～
--	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

A 型	0	0	0	0	0	0	0
B 型	65	4	22	28	9	2	0

(2) 性別

	合計	男性	女性
A 型	0	0	0
B 型	65	44	21

3. 支援状況

(1) 支援・活動

社会福祉法人まごころでは、利用者の人権を尊重し、自立に向けた支援に努めた。委員会活動を活発に行い、各委員会で年間 4 回以上開催した。権利擁護・虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会では内部研修を全職員対象に実施した。他部署での支援状況を把握するため支援者会議を 2 ヶ月に 1 度のペースで開催し、SNS を活用して利用者の様子や出来事の共有に努めた。また必要に応じて各関係機関とも連携し、利用者にとって過ごしやすい環境づくりに努めた。

(2) 作業支援

【まごころ庵】

まごころ庵では年間を通して安定した集客を得ることが出来た。また、毎月団体での見学者があり、見学後に食事の注文もいただくことで一般営業にプラスした売り上げとなっている。物価高により販売価格の見直しを行ったが利用者もすぐに理解することができた。焼き鳥・唐揚げ等の外部販売を積極的に行い地域交流の一環となった。

【フレンズ】

フレンズでは製菓部門の他にパンの製造販売が安定してきており、リピーターのお客さんも多くなってきている。また、令和 7 年 2 月から全日空社内でパン販売するためのトライアルを実施した結果、4 月から正式にパン販売開始することが決定した。製菓作業について、航空関連企業からイベント時に配布する飛行機や国旗をイメージしたクッキーの受注をいただき、先方から高い評価をいただくことが出来た。また、店舗販売以外でもみのりの郷や空の駅等での委託販売も地域に根付き、順調に売り上げを残している。2 月から職員体制の変更により営業時間を 11 時から 14 時、定休日を土日祝日に変更した。

【受託作業】

ヘッドホン作業については毎月コンスタントに多くの作業を行い、信頼関係を築くことで同じ取引先から別の作業依頼を受けることに繋がった。また、ヘッドホン作業以外にも順調で、特にカトラリー作業については安定して高い基準を維持することができている。作業量が増えるにつれて、利用者の作業に向かう態度と意識も向上している。うさぎ工房で帯や着物の生地を使用した雑貨を参道の三芳屋で販売し、観光目的の日本人や外国人の

購買に繋がっている。

【エアリーグリーン】

令和 7 年 10 月から園芸作業などを主体としたエアリーグリーンの事業を開始した。他福祉法人や花苗農家から安価で仕入れた物に手を加えることで商品価値を高め、単価を上げて販売している。まだ周知不足で、仕入れた物を完売するまでは至っていないが、SNS などを活用し販売力向上に努めた。また、利用者作業として栽培、水やり、寄せ植えなどを行い、徐々にではあるが利用者の取り組むことのできる作業が増えてきている。

(3) 一般就労の状況

令和 7 年度の就職者は 1 名であった。就労場所は佐倉市役所内の障害者を雇用している部署（チャレンジドオフィスさくら）であったが、環境になじむことができず入職から 4 ヶ月ほどで退職となった。

退職後はビーアンビシャス B 型利用者として出戻り、順調に通所することができている。

4. 地域交流

販売イベント等に積極的に参加した。地域のイベントに出店する他にも、他法人や学校、福祉団体等が主催するイベントに精力的に参加した。また、公津の杜のある「もりんぴあ」では毎週火・土曜日と週 2 回の販売を行うなど地元地域との交流に努めた。また 11 月のまごころデーでは保護者、役員のご協力をいただき、店舗以外にも飲食や射的などの模擬店販売を行った。気温が低く午後から降雨もあり、天候には恵まれなかったが、全体で 200 名近い集客があった。

また、地域貢献として定期的に施設周辺の清掃活動を実施している。職員と利用者でグループを作り地域の方々に挨拶をしながら取り組んだ。

5. 会議等状況

次の表の通り定期的に各種会議を実施した。

会議名	時 期	内 容
朝礼	毎日	スケジュール確認・引き継ぎ等
全体会議	毎月 1 回	本体の利用状況・業務報告
月次会議	毎月 1 回	本体月間収支報告・協議
四者会議	毎月 1 回	理事長・施設長・副施設長・事務長による業務報告・共有・協議
個別支援会議	6 か月毎、適宜	個別支援計画に基づく会議
支援者会議	2 ヶ月毎	利用者の情報共有、利用者ごとの支援方法協議

個人面談	6 か月毎 (A・B)	個別支援計画にともなう個別面談
ケース会議	随時	利用者について
委員会会議	3 か月毎	各委員会の報告・協議

6. 職員体制

【就労継続支援 B 型】

職員 22 名（常勤職員 20 名、非常勤職員 2 名）

職名	配置数（常勤換算数）
管理者	1 (0.25)
サービス管理責任者	1 (1.0)
生活支援員	2 (2.0)
職業指導員	17 (12.0)
目標工賃達成指導員	1 (1.0)
事務員	3 (2.0)
調理員	3 (2.0)

【就労選択支援】 R7 年 10 月から

職名	配置数（常勤換算数）
管理者	1 (0.25)
就労選択支援員	2 (1.5)
調理員	1 (0.5)

7. 職員研修状況

職員は①の表の通り内部研修を実施、②の表の通り外部研修を受講した。

① 内部研修

月日	テーマ	講師	受講者
2025/6/11	職員視察研修 社会福祉法人オリーブの樹 オリーブハウス	オリーブハウス 管理者代行/サビ管 和田 幸成氏	全職員
2026/1	身体拘束適正化研修	鈴木 博貴 仲村 佳晃	全職員
2026/2	虐待防止・権利擁護研修	花田 鉄平 加納 裕太	全職員

② 外部研修

月日	テーマ	受講人数
2025/6/5.6	令和7年度先進的事業所視察ツアーin いばらき	2
2025/6/24	給食施設栄養管理担当者研修	1
2025/6/30	支援の中でわき起こる感情にどう向き合うか ～戸惑い・迷い・辛さ・怒り～	2
2025/7/8	食品表示セミナー	1
2025/8/5	個別支援計画作成セミナー	1
2025/8/7	法人の魅力を伝える採用活動研修会	2
2025/8/20	社会福祉施設における防災対策講座【福祉避難所の理解】	1
2025/9/2	就労選択支援について	2
2025/10	給食施設の衛生管理、栄養管理	3
2025/10/22	令和7年度非常勤職員研修会	2
2025/10	サービス管理責任者基礎研修	2
2025/11/13	福祉サービスにおける苦情解決の基礎的姿勢と組織的対応	2
2025/11/14 2026/1/9	障害者の就労支援に関する基礎的研修	1
2025/12/5	今更聞けない福祉何でも相談室	2
2026/1/21	基本を学ぼう成年後見制度	1
2026/2/25	リーダーシップセミナー成果報告会	2
2026/3/6	成田精神保健福祉セミナー	1
2026/3/12	就労選択支援員養成研修成果報告会	3

8. 令和7年度年間行事

次の表の通り行事を実施、参加した。

月日	内容	場所	対象者
2025/4/16	新入社員歓迎寿司パーティ	施設内	全体
2025/4/27	フレンズマルシェ	敷地内	フレンズ・一般
2025/5/15	防災訓練	施設内	全体
2025/5/16.23	ねこ展見学	松山庭園美術館	希望利用者
2025/6/10	職員視察研修	千葉市	全職員
2025/6/12	消防訓練	施設内	全体
2025/6/13	理事会	施設内	まごころ理事・監事
2025/6/16	ボーリング大会	八街市	希望利用者
2025/6/18	利用者健康診断	施設内	希望利用者
2025/6/19	保護者会	施設内	保護者・職員

2025/6/26	ヨガ教室	施設内	希望利用者
2025/6/28	評議員会	施設内	まごころ評議員
2025/7/9	BCP 訓練	施設内	全職員
2025/7/26	施設公開説明会	施設内	全体・一般
2025/7/28	納涼祭&ビンゴ大会	施設内	全体
2025/9/10	防犯訓練	施設内	全体
2025/10/1	社員旅行	茨城県大洗町	希望利用者
2025/10/11	フレンズマルシェ	敷地内	フレンズ・一般
2025/10/30	ボランティア奉仕活動	敷地内	まごころ家族会有志
2025/11/10	まごころデー	敷地内	全体・一般
2025/11/12	消防訓練（立ち会い）	施設内	全体
2025/11/28	ヨガ教室	施設内	希望利用者
2025/12/11	利用者健康診断	施設内	全利用者
2025/12/17	クリスマスランチ	施設内	全体
2025/12/18	保護者会	施設内	保護者・職員
2026/1/11	モーガンクラブイベント	敷地内	全体・一般
2026/1/15	もちを楽しむ会	施設内	全体
2026/1/30	アンバサダー総選挙	施設内	全体
2026/2/18	防災訓練	施設内	全体
2026/2/28	施設公開説明会	施設内	全体・一般
2026/3/1	理事会	施設内	まごころ理事・監事
2026/3/21	評議員会	施設内	まごころ評議員
2026/3/28	令和 8 年度入社式	施設内	全体・新入所者

9. 訓練

次の表の通り避難訓練等を実施した。

月日	内容	対象者
2025/5/15	防災訓練	全職員・利用者
2025/6/12	消防訓練	全職員・利用者
2025/7/9	BCP 訓練	全職員
2025/9/10	防犯訓練	全職員・利用者
2025/11/12	消防訓練（立ち会い）	全職員・利用者
2026/2/18	防災訓練	全職員・利用者